

平成29年7月13日

フクビ化学工業株式会社  
品質保証本部



## フクフォームEco熱抵抗値試験データ

この品質性能試験報告書（一般財団法人 建材試験センター 第12A1693号）は、省エネ基準対応床下断熱材フクフォームEcoの熱抵抗値試験データになります。対象型は下記の通りです。

記

### 【対象型名】

フクフォームEco80mm厚 根太無し一般組工法用	E-2230型
	E-2235型
	E-2230M型
	E-2235M型
	E-22J82型
	E-22J88型
	E-22J92型
	E-22J97型

以上

## 品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験センター  
 中央試験所長 黒木 勝  
 埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	断熱材の断熱性能試験	
依頼者	会社名：フクビ化学工業株式会社 所在地：東京都品川区大井1丁目23番3号	
試験項目	熱貫流率，熱貫流抵抗	
試験体	名称：断熱材 材質：古紙混入発泡ポリプロピレン 商品名：フクフォーム Eco80mm 根太無し工法用一般組坂井 I 寸法：904×900 mm (実測値) 試験体図：図-1 (試験体図)， 図-2 (製品図) 備考：試験体は，図-2 に示す製品を図-1 に示す形状に組み合わせ，全体の寸法を約 900×900mm とした。	
試験方法	準拠規格	JIS A 1420 (建築用構成材の断熱性測定方法—校正熱箱法及び保護熱箱法) 附属書 B
	試験条件	熱流方向：上向き 設定温度：加熱箱内空気 33℃ 恒温室内空気 13℃ 気流：加熱箱側 0.5m/s 以下 恒温室側 自然対流
	[試験装置] <p>           ・加熱箱内法寸法 D : 900 mm W : 900 mm            ・加熱箱材質 押出法ポリスチレンフォーム (厚さ 300 mm)         </p>	

試験結果	伝熱面積	$A$	( $\text{m}^2$ )	0.813600	
	熱量測定	発生熱量	$Q_H$	(W)	15.3
		校正熱量	$Q_C$	(W)	9.2
		試験体通過熱量	$Q_N = Q_H - Q_C$	(W)	6.1
	空気温度測定	加熱箱内空気温度	$\theta_{HA}$	( $^{\circ}\text{C}$ )	32.9
		恒温室内空気温度	$\theta_{CA}$	( $^{\circ}\text{C}$ )	12.3
		空気温度差	$\Delta\theta_A = \theta_{HA} - \theta_{CA}$	(K)	20.6
		平均温度	$\bar{\theta}_A = \frac{\theta_{HA} + \theta_{CA}}{2}$	( $^{\circ}\text{C}$ )	22.6
	熱貫流抵抗	$R_K = \frac{\Delta\theta_A \cdot A}{Q_N}$	$[(\text{m}^2 \cdot \text{K})/\text{W}]$	2.75	
	熱貫流率	$K = \frac{1}{R_K}$	$[\text{W}/(\text{m}^2 \cdot \text{K})]$	0.36	
	[参考] 見掛けの熱抵抗 <sup>注1</sup>	$R_C = R_K - R_s$	$[(\text{m}^2 \cdot \text{K})/\text{W}]$	2.51	
注1) 見掛けの熱抵抗 $R$ は、熱貫流抵抗 $R_K$ から校正時の表面熱伝達抵抗 $R_s = 0.24 [(\text{m}^2 \cdot \text{K})/\text{W}]$ を差し引いた値である。 備考 1) 熱貫流抵抗、熱貫流率及び見掛けの熱抵抗は、小数点以下 2 桁に丸めた。					
試験期間	平成 24 年 9 月 6 日 ~ 10 日				
担当者	環境グループ 統括リーダー 和田 暢 治 主任 田坂 太 一 安岡 恒 (主担当)				
試験場所	中 央 試 験 所				

単位：mm

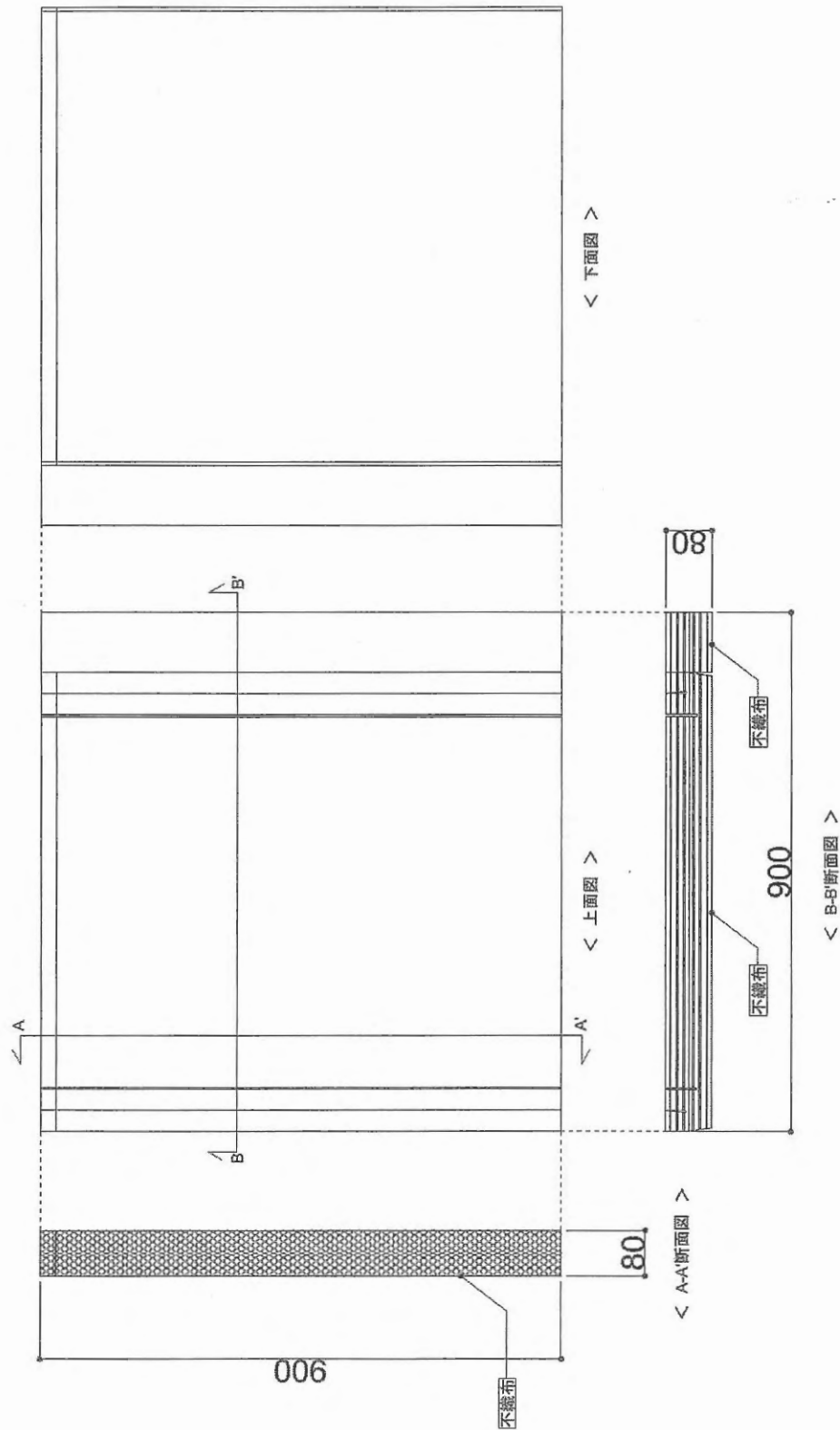


図-1 試験体 (試験体図)

単位：mm

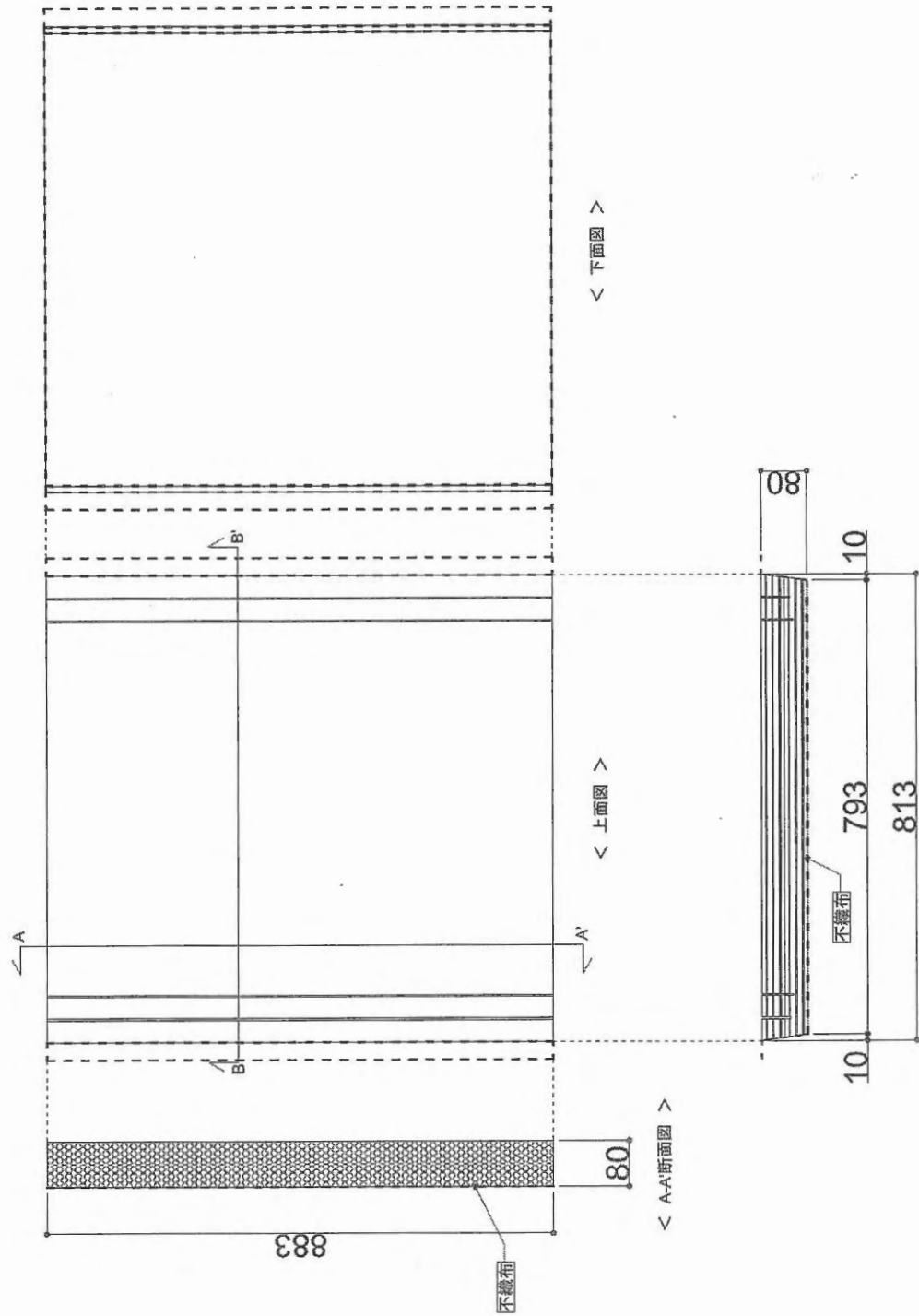


図-2 試験体(製品図)  
< B-B'断面図 >

以下余白